

半世紀先の未来に向けて

地球規模の環境・エネルギー問題や福島第一原子力発電所の事故を踏まえると、原子力や石油などの化石燃料に依存せず、現在の生活の質を維持・向上させながらも、エネルギーを賢く使うことで消費量を最小限にする社会を目指していく必要があります。

そのためには、まちの再構築に合わせた既存の建物の建替えやエネルギーの面的利用に係るインフラの整備、新たなライフスタイルへの転換など、長期的な視点を持った取組が必要となります。

そこで、この「さっぽろ・エネルギーの未来」では、長期的な視点からのエネルギーに対する理解・関心を深めるためのものとして、半世紀先を見据えたエネルギーから見た札幌の未来像を提示しました。

この「さっぽろ・エネルギーの未来」を、エネルギーから見た持続可能な社会について考え、行動するきっかけとし、エネルギーを利用する全ての市民、事業者、NPO・町内会等の団体、大学をはじめとする教育・研究機関、行政などが、半世紀先の未来に向け、今から一体となって取り組んでいくことが重要です。

